

平成 29 年 度

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

事業報告書

公益財団法人愛世会

《目 次》

1. 事 業 概 況	-----	1 ~ 2項
2. 愛 誠 病 院	-----	3 ~12項
3. 介護老人保健施設 シルバーピア加賀	-----	13~18項
4. 訪問看護ステーション	-----	19~20項
5. 居宅介護支援事業所	-----	21~22項
6. 地域包括支援センター	-----	23~27項
7. 愛 歯 技 工 専 門 学 校	-----	28~31項
8. 愛 歯 技 工 研 究 所	-----	32~34項

平成29年度事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日まで)

事業概況

日本経済はいざなぎ景気を超える長期回復が続いていると言われている。しかし、その回復力が弱く定常状態が続いている。

こうした社会情勢にあつて、医療・介護を取り巻く環境は医療費適正化対策による抜本的な医療費抑制が進められているため厳しさが増している。また、医師・看護師・看護補助者の需給状況も激変し大きな課題となった。

一方、歯科技工分野も市場原理の経済環境の中、一段と厳しい状況となった。

当法人は、従来から人材の育成、更にコストの削減に対する課題や医療経済の変化に対応し公益性と収益性のバランスを重視した事業運営の推進に努めてきたが、見通しの立て難い経営状況であった。

1.医療を取り巻く厳しい状況下にあつて、当法人の主力部門である「愛誠病院」は喫緊の課題が看護師・看護補助者の人員不足であったため、その補充について募集活動に全力を挙げ、危機的状況から脱することができた。更に、定着性の問題においても一層の待遇改善に努力を重ね、医療の安心・安全を目指した質の高い医療提供に役目を果たすことができた。また、健診事業に於いては、地域住民を対象とした積極的な予防対策の拡大に努めたが収支改善には至らなかった。

2.病院併設型介護老人保健施設「シルバーピア加賀」は介護保険制度改革のもと経営環境が厳しく、目標とする入所者数、通所デイケア数が大きく下回り、医療と同様に介護職の人材確保が課題であった。超高齢化社会を展望した積極的な募集活動、待遇改善に努力し収支均衡の計上をすることが出来た。

3.愛歯技工専門学校は、少子化に伴い生徒数が8名となり将来に向けた学校経営は困難とし、本年の生徒が卒業する平成31年3月末にて学校の経営を終えることとなった。90年の歴史を持つ技工士専門学校経営であったが、近年の少子化には対応できず経営を断念せざるを得なかった。

また、愛歯技工研究所は最新の機器導入により技術革新に努力を重ね、技術の向上に寄与し収支の安定に努力した。

事業の概要は以上のとおりであるが、経済環境は元より医療・介護・歯科技工分野(学校経営含む)においては極めて厳しい環境での法人経営となった。

只し、公益法人として不特定多数の地域社会に本年度も貢献できたものと確信している。

以上

愛 誠 病 院

厳しい医療環境の中、患者サービスの向上を考えあらゆるニーズに対応できる病院作りを第一に、安全なそして安心できる医療環境を提供するため、次の事業を行った。

A. 診療部門

1. 公益財団法人病院として実施した事項

- (1) 生活保護者については、症状が重篤化して個室を使用する場合には室料差額の徴収を行わなかった。 室料差額減免額: ¥1,979,640 円
- (2) 精神病棟において合併症治療のため入院相談が 117 件あり、そのうち入院した患者は、24 人であった。
- (3) 生活保護法による医療扶助患者数は次のとおりである。

	患者数
入院総数(延べ)	145,512 人
うち医扶患者	43,554 人
外来総数(延べ)	41,017 人
うち医扶患者	7,433 人
合 計(延べ)	186,529 人
うち医扶患者	50,987 人
比率(%)	27.33%

- (4) 入院及び外来患者数は次のとおりである。

	入院患者	退院患者	死亡者	入院患者延数	外来患者延数
年間患者数	527	533	92	145,512	41,017

- (5) 地域住民対象に行った無料医療講演会の参加者数は次のとおりである。

①分院 上野クリニック

演 題: 下肢静脈瘤について

出席者: 3名

②分院 上野クリニック

演 題: ガン治療をサポートする漢方薬について

出席者: 1名

- (6) 就労の支援の為、看護職場体験を下記の通り受け入れた。

中学校2校から5名

- (7) 勤労者に対しインフルエンザワクチンや B 型肝炎ワクチンをはじめ各種ワクチン接種を延 77,515 人に行った。

- (8) 精神科の外来患者に対して社会復帰支援のため精神科デイケアを延 5,882

人に、入院患者に対して精神科作業療法を延 15,427 人に行った。

- (9) メンタルヘルスの啓蒙のため、健康管理センターと心理室が共同で「メンタルヘルス読本」と「メンタルヘルス問診表」を作成し、利用することとした。
また、人間ドックにおいて「ストレス検診」を 13 名の方に行った。
- (10) 各学校の学生実習を次のとおり受け入れた。

学校名	担当部署	期間	人数
帝京高等看護学院	精神病棟	4月～10月 2月	50名
日本リハビリテーション 専門学校	作業療法科	4月～6月	7名
聖学院大学	医療相談室	5月～6月	1名
板橋区医師会立 看護高等専修学校	精神病棟 療養病棟	6月～11月	35名
上板橋看護専門学校	精神病棟	6月～10月	30名
板橋区医師会立 看護高等専修学校	デイケア科 精神病棟	6月～11月	26名
文京学院大学	医療相談室	6月～7月	1名
武蔵野大学	医療相談室	7月～8月	1名
東京衛生学園 専門学校	精神病棟	1月～2月	17名
帝京科学大学	作業療法科	2月	1名
彰栄リハビリテーション 専門学校	作業療法科	2月	1名

- (11) 日本赤十字社 東京都赤十字血液センターの依頼で献血を愛誠病院駐車場平成 30 年 2 月 16 日 111 名の受付者に対して 99 名の献血を行った。

2. 本院及び分院「上野クリニック」のドック・健診実績

(1) 本院のドック・健診実績

	男性	女性	合計
日帰り人間ドック	1,595	887	2,482
生活習慣病予防健診	236	224	460

(2) 分院「上野クリニック」のドック・健診実績及び外来実績

① 健診実績

	男性	女性	合計
日帰り人間ドック	1,175	425	1,600
生活習慣病予防健診	3,937	2,052	5,989

② 外来実績

	診療実日数	延べ患者数
外来実績	246	4,357

(3) 愛誠病院全体で行った集団健診受診者数実績

① 一次健康診断

定期健康 診 断	生活習慣病 予防健診	が ん 健 診			循環器
		胃	大 腸	肺	
93,418	30,670	23,818	2,158	62	12,511

児童生徒	特 殊	婦 人	住 民	ストレス チェック	採用時 健康診断	合 計
16,979	9,554	1,005	1,098	6,623	8,135	206,031

② 二次健康診断

定期健康 診 断	生活習慣病 予 防 健 診	胃 が ん (胃内視鏡)	大 腸 が ん (大腸内視鏡)	肺 が ん (胸部 CT)	合 計
1,950	112	2,025	27	62	4,176

B. 研修部門

1. 学会出席実績

月日	学会名	職責	参加者
4月27日 28日 29日	第117回日本外科学会	院長 副院長 外科医長	武田義次 川上利光 森田直巳
6月23日 24日	第56回日本消化器がん検診学会	放射線技師	北原将伸
6月23日 24日	日本消化器がん検診学会総会	放射線科 科長	木下秀記 他
8月24日 25日	第58回日本人間ドック学術大会	院長	武田義次
8月24日 25日	第58回日本人間ドック学術大会	上野所長	堀江文俊
8月24日 25日	第58回日本人間ドック学術大会	副院長	川上利光
8月24日 25日	第58回日本人間ドック学術大会	上野医師	矢吹志保
9月14日 15日	日本褥瘡学会学術集会	薬剤師	高岡佳子
9月15日 16日	第16回精神保健福祉士学会	医療相談室 室長	洗成子
9月21日 ～23日	第49回日本臨床検査自動化学会	医療安全室 室長	柗谷覚 他
9月22日 ～24日	第51回日本作業療法学会	作業療法士	伊藤和華奈
10月21日 22日	日本心エコー図学会	主任 検査技師	小野寿子
10月25日	第31回東京精神科病院協会学会	副師長	西祈恵子 他
10月28日 29日	第25回日本血管外科学会	主任 検査技師	小野寿子
3月10日	日立MRI・CTフォーラム	主任 放射線技師	田中聡 他
3月11日	JSS 関東甲信越 第38回学術集会	検査技師	中山親子

2. 外部研修会出席実績

月日	研修会名	職責	参加者
4月9日	尿検査フォーラム2017	検査技師	神部瑠美
4月20日	第118回消化管X線診断研究会	放射線技師	北原将伸
5月26日	板橋区保健所 栄養管理講習会	栄養科長	森田ほづえ
5月27日	ハイアドバンスドMRセミナー	主任放射線技師	田中聡 他
5月27日	泌尿器疾患・性感染症治療の最前線	薬局長	弓野紅子
5月31日	東精協 精神科看護の基本スキル	看護師	山口美由紀
6月9日	算定説明会	総務部長	小林孝一 他
6月10日	日本病院会感染対策セミナー	検査科長	粕谷勝尋
6月12日	薬疹を理解するためのステップス	主任薬剤師	大山広美
6月21日	東精協 感染対策担当者連絡会	副主任看護師	鈴木英美子
6月22日	東京都看護協会通常総会	准看護師	粕谷ひろ美
6月24日	アセスメント研修(東京PSW協会)	医療相談室長	洗成子
6月24日	人間ドック健診情報管理指導士第44回ブラッシュアップ研修会	副主任看護師	高橋聖美
7月4日	甲状腺超音波実地研修	主任検査技師	小野寿子
7月13日	精神障害者地域生活移行支援会議	看護師	小林光子
7月19日	板橋区保健所 食品衛生講習会	主任調理師	祝迫繁樹

月日	研修会名	職責	参加者
7月20日	第5医療圏板橋区看護部長会	看護部長	大塚泉江
7月21日	東京都認知症対応力向上研修Ⅰ	主任 看護師	中根美友紀
8月26日	2017年第2回人間ドック健診 専門医研修会	上野所長	堀江文俊
8月26日	2017年第2回人間ドック健診 専門医研修会	副院長	川上利光
8月26日	2017年第2回人間ドック健診 専門医研修会	上野医師	矢吹志保
8月29日	リハビリを志向した統合失調症治療	薬剤師	福田裕美子
9月2日	ラボラトリーフォーラム講演 「採血のポイント・対処法」	副師長	加藤明子 他
9月7日	精神障害者の地域移行体制 整備支援事業人材育成事業	病棟師長	栗山美樹
9月7日	個別給付のアセスメントポイント (東京都人材育成研修)	精神保健 福祉士	芝田孝栄
9月14日	住民税及びその他の 地方税の源泉について	経理課員	柴田里奈
9月15日	東京胃会	放射線 技師	堀孝太郎
9月22日	東精協 精神科病院における 院内感染対策研修会	病棟 副師長	西祈恵子 他
9月28日	耳鼻科領域における西洋薬 漢方薬の使い分	薬剤師	井上旦子
9月29日	選別聴力検査研修会	主任 営業	松尾勇人
11月4日	基幹研修Ⅱ (日本精神保健福祉士協会)	医療相談 室長	洗成子
11月17日	東京精神科病院協会医事研修会	主任 医事課員	細野潔
11月28日	東京都認知症対応力向上研修Ⅱ	主任 看護師	澤徳子

月日	研修会名	職責	参加者
12月1日	板橋区救急業務協議会 救急医療講演会	事務長	横山雅行
12月4日	ISMS教育訓練	健康管理センター部長	東茂紀 他
12月9日	東京都胃内視鏡検診講習会	主任 検査技師	阿部浩美
1月21日	東精協臨床心理士部門研修会	ディケア 課長代理	齋藤健太郎
1月26日	1日で学ぶ失敗しないための 建替え講座	経理部長	白鳥政人
1月26日	選別聴力検査研修会	健康管理センター部員	中川和哉
1月26日	頸動脈エコー研修会	検査技師	都築陽子
2月9日	保健医療分野のSWの役割と展望 (東京都)	社会福祉士	関根淳子
2月9日	エコーでわかる消化管の病変	検査技師	中山親子 他
2月14日	東京都院内感染対策講習会	主任 検査技師	遠藤勝成
2月21日	病院財務分析 入門編	主任 経理課員	石垣勝一
2月24日	公社)東京都栄養士会 研究教育事業部研修会	管理 栄養士	藤井堇
3月3日	心的外傷ケアを学ぶ	准看護師	山内まゆみ
3月5日	障害者雇用説明会	副主任 総務課員	泉澤和哉
3月9日	東精協 入院中の自殺事故について	主任 看護師	有賀民子 他
3月12日	平成30年度診療報酬改定説明会	医事課長	滝澤賢史 他
3月23日	平成30年度診療報酬 介護報酬講習会	医事課長	鹿野兼司

3. 内部研修会実績

月日	研修会名	職責	発表者
4月5日	地域移行について(新人研修)	医療相談室長	洗成子
4月5日	PPE・手指衛生消毒研修会	医療安全室長	梶谷覚
5月26日	接遇と対応	看護部長	大塚泉江
6月13日	衛生講習会	マネージャー	日清医療食品
6月15日	ベルソムラ錠について	メーカー	MSD 株式会社
6月16日	防災と防災時の対応	施設課長	近藤茂
6月29日	ロコアテープについて	メーカー	帝人
7月12日	心電図の波形について	副主任検査技師	小野寿子
7月12日	看護部教育研修会・検査データ	検査科長	粕谷勝尋
8月8日	食品衛生講習会報告	主任調理師	祝迫繁樹
9月16日	ストレスマネジメントフォローアップ研修	臨床心理士	齋藤麻利
9月19日	食事介助と口腔清拭	副主任助手	岡村直樹
9月28日	救急時の対応「AEDについて」	メーカー	フクダ電子
10月4日	防災と防災時の対応	消防署	板橋消防署
10月10日	ノロウイルス対策について	日清医療食品	管理部
10月17日	死後の処置	主任助手	米谷和洋

月日	研修会名	職責	発表者
10月18日	ノロ・インフルエンザの予防と対策	検査科長	粕谷勝尋
10月18日	感染対策について	検査室長	柁谷覚
11月2日	認知症について	看護師	小島幸子
11月16日	睡眠薬について	薬局長	弓野紅子
11月27日	感情のコントロールについて	臨床心理士	齋藤麻利
11月30日	認知症予防の食事について	栄養科長	森田ほづえ
12月4日	ISMS教育訓練	コンサルタント	(株)ゼクト
12月19日	ベッドメイキング及びシーツ交換	副主任助手	岡村直樹
1月4日	新人看護師教育研修	副師長	西祈恵子
1月16日	嘔吐物の処理方法について	日清医療食品	管理部
1月16日	暴力について	准看護師	坂本健一
2月21日	看護研究発表	看護師	中村喜江 他
3月20日	入浴について	副師長	廣瀬久美子
3月22日	レキサルティについて	メーカー	大塚製薬
3月28日	CVポートについて	副院長	川上利光
3月28日	胸部X線研修会に参加して	放射線技師	佐藤 巧
3月29日	安全運転講習会	安全運転管理者	板橋警察署

C. 設備部門

1. 老朽化等により、環境が悪化したので改修工事を次の通り実施した。

No	修繕内容
1	内視鏡室改装
2	12-1病棟 給水管改修
3	歯科診療所 改修
4	11-2病棟 手摺取付工事

2. 病院の情報提供を推進するため、ホームページを適宜更新した。

D. 機器の整備部門

医療の質の向上と健診の充実を図るため、次の医療機器を購入した。

No	機器名	台数	設置部署
1	手術台	1台	手術室
2	集団検診用サーバー	2台	集団検診部
3	心電計	4台	集団検診部
4	デジタル超音波診断装置	1台	集団検診部
5	脳波計	1台	臨床検査科
6	デジタル超音波診断装置	1台	臨床検査科
7	生体情報モニター	1台	12-1病棟

介護老人保健施設シルバーピア加賀

要介護者に対し、施設サービス計画に基づき、医学的管理の下での看護、介護、機能訓練、レクリエーション等在宅生活への復帰をめざした事業を行なった。

A. 事業部門

1. 施設状況

(1) 入所内訳

入所定員	200人
利用率	92.3%
入所者延数	67,345人
1日平均入所者数	184.5人

(2) 退所先 主な内訳

在宅	247人
併設病院	60人
病院	9人
他介護施設	24人
死亡	22人

(3) 通所内訳

通所定員	60人
利用率	86.1%
通所者延数	15,074人
実日数	307日
1日平均通所者数	49.1人

B. 受託部門

1. 職場体験学習実施実績

実施日	学 習	受入れ先	受入れ数
11月16～22日	職場体験	北区立十条富士見中学校	3名

2. 実習生・ボランティア受入実績

	受入れ先	受入れ実人数
看護科実習	帝京大学 看護科	9人
	北里大学薬学部他 学生	45人
介護科実習	東京家政大学	218人
	目白大学	3人
リハビリ科実習	日本リハビリテーション学校	4人
ボランティア	傾 聴	6人
	一 般	401人

C. 研修部門

1. 外部研修会出席実績

月 日	研 修 会 名	職 責	参 加 者
4月12日	食べられなくなった認知症高齢者の医療について	施設長	白土裕之
4月12日	知っ得！板橋区でリハビリ専門職として働くために	リハビリ科長	山本幸司
5月2日	城北地区老健事務長会	事務長	堀部 真
5月18日	介護リーダー養成研修	介護科	長浜武史 他
5月22日	業務に追われない一日を作るために～業務改善・基礎研修	介護科	長浜武史
5月26日	栄養管理講習会	栄養課	木村美佐
5月29日	板橋区認定調査員新規研修	相談室	渡邊 洋
6月9日	算定基礎届等の説明会	事務長	堀部 真
6月9日	定例講習会(社会保険・労働保険の応用)	事務課	作田美友紀
6月10日	完全実技で学ぶ！浮腫に対する徒手的アプローチ	看護科	中村琴淑
6月13日	城北リーダー会議(定例)	ケア部長	米永芳枝 他
6月27日	腰痛予防について	介護科	田野宏之 他
6月27日	板橋ロイヤルケアセンター(老健)見学	リハビリ科	菊池正史 他
7月3日	平成29年度 第1回東京都脳卒中地域医療連携パス区西北部研修会	施設長	白土裕之
7月6日	「教育職員免許法の特例による社会福祉施設介護等体験事業」における施設説明会について	介護科長	伊藤博基
7月9日	機能訓練・トレーニングの工夫研修会2017	リハビリ科	松岡宏介 他
7月13日	事故予防と緊急対応研修	介護科	安宍 満
7月27日 他1日	第28回全国介護老人保健施設大会 愛媛in松山	介護科	須永 茜 他
9月10日	第25回日本外科学会生涯教育セミナー(関東地区)「医療安全」	施設長	白土裕之

月 日	研 修 会 名	職 責	参 加 者
9月11日	第1回板橋区権利擁関係機関連絡会	相談室	渡邊 洋
9月12日	城北リーダー会議	ケア部長	米永芳枝 他
9月13日 他1日	介護老人保健施設における他科受診について	相談室	渡邊 洋
9月14日	事務担当者研修会	事務課	三原哲也
9月15日	平成30年度介護報酬改正に向けて (通所リハビリテーション)	相談室	君塚大輔
9月18日 他6日	平成29年度第1期東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	相談室	君塚大輔
9月29日	第44回国際福祉機器展	介護科	長浜武史
10月17日	平成29年度東京都老人福祉施設等 感染対策指導者養成研修	看護科	岸 真紀
10月22日	どうなる2018年度介護報酬改定 ～同時改定を生き残る介護事業経営	事務長	堀部 真
10月24日	ケアの質を上げる研修会 ～ICF(国際生活機能分類)を活用した ケアプラン～	相談室長	上田直子 他
10月26日	「最近の葬儀事情・ご遺族への対応など」 「死後処置について」	介護科	柳澤貴宏 他
11月2日	介護サービス事業管理者高齢者権利 擁護研修(施設居住系)	ケア部長	米永芳枝
11月2日	終末期の栄養管理	栄養課	木村美佐
11月10日	食品衛生講習会	栄養課	木村美佐
11月19日	平成29年度通所リハビリテーション 研修会	リハビリ科長	山本幸司 他
11月21日	結核予防講習会「高齢者福祉施設に おける結核対策」	看護科	岸 真紀
11月29日	平成29年度安全運転管理者講習	事務長	堀部 真
12月5日 他3日	平成29年度東京都高齢者権利擁護 推進事業 「施設内リーダー職員研 修(看護実務者研修)」	看護科	原田佐和子
12月8日	急性期から在宅までの呼吸ケアとリハ ビリテーション	リハビリ科長	山本幸司

月 日	研 修 会 名	職 責	参 加 者
12月11日	炎上させない苦情・クレーム・トラブル 対応研修	介護科長	伊藤博基
12月12日	城北リーダー会議	介護科長	伊藤博基 他
12月14日	看取り事例発表会	ケア部長	米永芳枝
1月20日	平成30年度介護報酬改定に向けて 在宅リハビリテーション研修会	相談室	君塚大輔
1月26日	介護虐待を起こさないための基礎研修	介護科	長谷川理恵子
1月30日	平成29年度在宅支援・在宅復帰推進 セミナー ～報酬改定を乗り越えて いける老健になるためには～	リハビリ科長	山本幸司 他
2月19日 他1日	板橋区認定調査員現任研修	相談室	飯田有希子 他
2月24日	全国抑制廃止研究会 東京大会	施設長	白土裕之 他
3月9日	通所部会	リハビリ科長	山本幸司
3月9日	サルコペニア(加齢に伴って生じる骨 格筋量と骨格筋力の低下)・フレイル (高齢者が筋力や活動が低下している 状態:虚弱)と栄養	栄養課	大橋律子
3月13日	城北地区老健看護介護部会	ケア部長	米永芳枝 他
3月14日	在宅医療と救急医療をつなぐ会 2025年地域包括ケアを見据えて	施設長	白土裕之
3月16日	第2回業務改善発表会(さくらの杜)	ケア部長	米永芳枝 他
2月22日	東京都介護認定審査会委員現任研修	相談室長	上田直子
3月23日	平成30年度介護報酬改定説明会	事務長	堀部 真 他
3月24日	第88回日本衛生学会学術総会	施設長	白土裕之
3月29日	平成30年4月介護報酬改定等に伴う 事業者説明会	相談室	君塚大輔 他
3月27日	平成30年度介護報酬改定説明会	相談室長	上田直子 他

2. 内部研修会実績

月 日	研 修 名	講 師	参加者数
4月13日	高齢者のエネルギー必要量のエビデンス(根拠)を考える	外部講師 勝川史憲先生	29
4月24日			13
4月28日	理念とは	堀部事務長・永瀬科長	24
5月15日	生活リハビリについて	リハビリ科	19
5月18日	防災について	井上課長	10
5月30日	経口維持加算について	リハビリ科言語聴覚士 栄養科	18
6月8日	オムツ講習会スキンケアについて	外部講師小笹様	20
6月23日	手指衛生の重要性と実践	感染対策委員会	27
6月30日	身体にかかる圧の影響と対策	外部講師藤田様	19
7月13日	誤嚥・窒息時の対応について	事故対策委員会	30
7月28日	介護計画 記録について	介護科主任	11
8月17日	利用者の理解について	米永ケア部長	22
9月14日	虐待について	推進委員会	27
9月22日	食事箋の見方とミキサー食の試食	看護師:田口 介護士:青木	17
9月29日	高齢者の特性について	研修育成委員会	8
10月12日	感染対策について	感染対策委員会	52
10月26日	排泄ケアによる感染予防	外部講師小笹様	11
11月9日	生活リハビリについて	リハビリ科	13
11月17日	事故対策	事故対策委員会	18
11月29日	認知症について	介護科副主任	13
1月11日	虐待防止と個人情報について	白土施設長	38
1月19日	AED(自動体外式除細動器)研修	外部講師	26
2月16日	高齢者虐待について	推進委員会	21
2月22日	研究発表会	研修育成委員会	87
3月2日	メンタルヘルス(心の健康)について	白土施設長	28

訪問看護ステーション

要介護者の居宅を訪問し療養上の世話や支援、診療の補助を行い、必要な看護サービス事業を行なった。

A. 事業部門

1. 事業状況

保 険 の 別	訪 問 件 数
医 療 保 険	669 件
介 護 保 険	1,966 件
1日平均訪問件数	10.8 人

B. 研修部門

1. 会議・研修会等出席実績

月 日	会議・研修会名	職 責	参 加 者
5月23日	訪問看護事業所集団指導講習会	事務課	芳野 恵
6月27日	訪問看護師と介護職が知っておくべきシーティング(座位保持)の基礎知識	所 長	山下昌代 他
6月16日	第12回看護職員フェア	所 長	山下昌代
7月26日	たんぽぽ会主催 勉強会 皮膚・排泄ケア認定看護師&糖尿病認定 看護師が伝えたいフットケア	所 長	山下昌代 他
9月12日	板橋区訪問看護ステーション会 所長会・交流会	所 長	山下 昌代
11月21日	たんぽぽ会主催 勉強会 在宅でおこなう誤嚥予防のためのひと工夫	所 長	山下 昌代
11月29日	板橋区医師会訪問看護ステーション主催 「痛みと向き合うために」	所 長	山下昌代 他
12月9日	平成29年度東京都認知症多職種協働研 修「認知症の地域包括ケア 多職種協働 の重要性」	看護師	杉山 京子

月 日	会 議 名	職 責	参加者
1月19日	平成29年度 城北ブロック研修会 トラブルを回避するコミュニケーションスキル ～相談現場の知恵に学ぶ～	所 長	山下昌代 他
2月15日	訪問看護師としてここをおさえよう ～看護の基本～	看護師	杉山 京子
3月13日	板橋区訪問看護ステーション会 所長会 勉強会「呼吸器疾患看護について」	所 長	山下昌代 他

居宅介護支援事業所

在宅の要介護者等が、在宅サービスを適切に利用出来るようにサービス計画を作成し、居宅介護支援事業を行なった。

A. 事業部門

1. 事業状況

内 容	件 数
介護保険給付管理	901 件
認定調査委託件数	28 件

B. 研修部門

1. 介護支援専門員事例検討会開催実績

月 日	内 容	参加 事業者数	参加者数
4 月 7 日	第 9 回 往診医へ約 20 回／日、ケアマネジャーへ約 30 ～40 回／日電話をかけ、息子へも世間話的な 電話をかける方への対応について	11	15
7 月 14 日	第 10 回 福祉用具事業所より『クレームの内容や相談し たいケースについて』	10	13
11 月 10 日	第 11 回 認知症一人暮らしの方で、今後認知症状が進 行してきた場合、健康問題の悪化が予想される が、悪化する前に対応改善した方が良いと思っ ている方のケースについて	10	16

2. 外部研修会出席実績

月 日	研 修 会 名	参加者
5月31日	難病の進行に伴い在宅生活が困難になって来たが、本人の望む生活を実現させる為にはどうしたら良いのか？	佐藤 浩之
6月15日	介護予防給付ケアマネジメント研修 (おとしより保健福祉センター)	木村 実
8月22日	会議の勘所！効果的な会議の進め方	佐藤 浩之
9月22日	加賀・東板橋地区ケアマネ向け研修 「身よりのない高齢者の問題と対策」	佐藤 浩之
12月12日	小地域ケア会議 家を出ては転倒を繰り返す認知症状のある独居女性	佐藤 浩之
12月15日	認知症アセスメントシート(DASC)フォローアップ研修	佐藤 浩之
2月16日	加賀・東板橋地区ケアマネ向け研修 認知症のある方へのコミュニケーションとアセスメント (評価)の注意点	佐藤 浩之
3月20日	介護保険制度改正が居宅介護支援業務に与える影響	佐藤 浩之

3. 内部研修会実績

月 日	研 修 会 名	講師	参加者数
9月1日	「個人情報保護法」について	堀部 真	2

地域包括支援センター

板橋区より運営委託を受け、地域の高齢者に対して状況を把握し、適切な情報を継続的に配信した支援事業を行なった。

A. 事業部門

1. 事業状況

内 容	取扱い件数
相 談 延 数	8,247 件
相 談 者 数	1,162 人
見守りネット対象者	352 人
在 宅 訪 問 件 数	2,607 件
認 定 調 査 委 託 数	36 件
介護予防事業管理件数	1,688 件
予 防 給 付 管 理 件 数	1,115 件

B. 受託部門

1. 外部講演会実績

月 日	研 修 会 名	職 責	参 加 者
6 月 7 日	「認知症サポーター養成講座」 なごみランチ倶楽部	センター長	齋藤肇二 他
6 月 12 日	「見守りキーホルダーの紹介」 金沢老人会 わなげの会	社会福祉士	工藤久美 他
6 月 23 日	「在宅介護・看護を考える」 グランフィーネ加賀	センター長	齋藤肇二 他
6 月 26 日	「認知症予防、介護サービスの利用」 けやきの会	社会福祉士	宮川多津子
7 月 4 日	「食中毒に気をつけよう」 大山東町明寿会	センター長	齋藤肇二 他

月 日	研 修 会 名	職 責	参 加 者
7月26日	「見守りキーホルダー登録」 レーベンハイム加賀つむぎ会	センター長	齋藤肇二 他
9月6日 他8日	「10の筋トレの会」 加賀ガーデンハイツ	センター長	齋藤肇二 他
10月4日 他2日	「要支援高齢者の尊厳の実現」に係る 連続講座	センター長	齋藤肇二
10月25日	第1回医療連携研修会 「地域ネットワーク会議について」 板橋区歯科医師会にて	センター長	齋藤肇二
12月9日	「見守りキーホルダー登録」 板二シルバー会カラオケサークル	センター長	齋藤肇二 他
12月17日	「おとセンと包括との役割等の説明」 板4老人クラブ仲よし会	センター長	齋藤肇二 他
3月6日	「認知症サポーター養成講座」 板橋郵便局	センター長	齋藤肇二 他

C. 研修部門

1. 外部研修会等出席実績

月 日	研 修 会 名	職 責	参 加 者
4月21日	東京都介護支援専門員 実務研修	保健師	杉崎裕子
6月5日	認知症の人の地域生活を支援するケ アプログラム推進事業セミナー	社会福祉士	宮川多津子
6月8日	認知症初期集中支援チーム員研修	センター長	齋藤肇二 他
7月25日	板橋区認定調査員現任研修	社会福祉士	三澤史哲
8月22日	会議の勘所！効果的な会議の進め方	センター長	齋藤肇二
8月28日	認知症支援コーディネーター（調整 役）等研修	センター長	齋藤肇二
9月4日	地域包括支援センター職員向け研修 「記録の書き方」	センター長	齋藤肇二
9月11日 他1日	リ・アセスメント（再評価）支援シートの 活用	センター長	齋藤肇二
9月14日	支援者のためのアンガーマネジメント （怒りのコントロール）	センター長	齋藤肇二 他

月 日	研 修 会 名	職 責	参 加 者
9月22日	知っておきたい！ 呼吸器疾患のリハビリテーション	社会福祉士	宮川多津子
11月8日	認知症ケアパス研修	社会福祉士	宮川多津子
11月13日	高齢者権利擁護研修「セルフ・ネグレクト(自己放任)への支援」	社会福祉士	三澤史哲
11月17日	在宅高齢者における結核対策	保健師	杉崎裕子
11月22日	精神障がいの基礎知識	センター長	齋藤肇二 他
12月9日	認知症他職種協働研修	社会福祉士	工藤久美
12月13日	認知症、精神疾患、高次脳機能障害 どう違うの？ どう対応するの？	センター長	齋藤肇二
12月15日	見守り担当者連絡会	社会福祉士	宮川多津子
12月21日	認知症地域支援推進員研修(基礎)	センター長	齋藤肇二
1月16日	高齢者の尊厳の実現に向けてのネット ワーク会議の内容について	センター長	齋藤肇二
1月19日	認知症支援コーディネーター(調整 役)等研修	センター長	齋藤肇二
1月24日	周辺症状を回避するケア	センター長	齋藤肇二
2月2日	若年性認知症企業セミナー ～職場における若年性認知症の人への 支援のため～	社会福祉士	宮川多津子
2月5日	在宅で療養する難病患者さんのため の支援体制づくり	保健師	杉崎裕子
2月8日	考えてみよう家庭内の身体拘束・外鍵	センター長	齋藤肇二
2月20日	相談窓口対応力向上研修	保健師	工藤直美
3月20日	介護保険制度改正が居宅介護支援業 務に与える影響	センター長	齋藤肇二
3月22日	認知症とともに暮らせる社会に向けて	センター長	齋藤肇二

2. 内部研修会実績

月 日	研 修 会 名	講 師	参加者数
9月1日	「個人情報保護法」について	堀部 真	5

3. 主任介護支援専門員交流会開催実績

月 日	内 容	参加 事業者数	参加者数
4月26日	第1回 今年度の活動について	7	9
7月26日	第2回 地区ケアマネージャー向け研修開催 について	7	10
11月14日	第3回 ケアマネージャー向け研修アンケート 結果など	8	10
12月12日	第4回 第2回ケアマネ向け研修について	8	10

4. 地域ケアマネージャー向け研修会開催実績

月 日	内 容	参加 事業者数	参加者数
9月22日	身よりのない高齢者の問題と対策	19	30
12月12日	認知症のある方へのコミュニケーションとアセス メント(評価)の注意点	21	31

5. 小地域ケア会議開催実績

月 日	内 容	参加 事業者数	参加者数
5月31日	難病の進行に伴い在宅生活が困難になって来たが、本人の望む生活を実現させる為にはどうしたら良いのか？	16	39
12月12日	家を出ては転倒を繰り返す認知症状のある独居女性	22	31

6. 相談協力員研修会・交流会開催実績

月 日	内 容	参加者数
7月20日	高齢者と家族信託について	21
2月28日	高齢者の交通事故について	18

7. 地区ネットワーク会議開催実績

月 日	内 容	参加者数
7月26日	みんなのたすけあいセンターいたばしの活動について	14
1月17日	地域の自主グループの活動について 10の筋トレの活動について	12

愛 歯 技 工 専 門 学 校

学校部門の学生指導課題として、1年生は全員進級と2年生は国家試験全員合格を掲げた。具体的には、以下に示す平常授業に加え、自主学習の時間を設けて国家試験対策問題集をその時間に活用させた。その結果、平成30年2月に行われた全国歯科技工士教育協議会が主催した国家試験対策模擬試験では、全国の学校順位では2位となった。また、国家試験には全員が合格した。成績不振の学生には、放課後や土曜日を利用して補習授業を行った結果、課題を克服して1年生全員が進級することとなった。

A. 教育部門

(期間:平成29年4月1日～平成30年3月31日)

1. 授業の実施

下記の時間数のとおり授業を行った。

年次	区分	時間数	
1年次	学科	672時間	1,420時間
	実習	748時間	
2年次	学科	54時間	1,352時間
	実習	1,298時間	

2. 就職指導の実施

(1) 求人件数実績

求人社数	求人数	卒業予定数	求人倍率
126 社	459 名	15 名	31 倍

B. 研究部門

1. 学会発表実績

月 日	学 会 名	職 責	発 表 者
5 月 27 日	国際歯科技工学会学術大会	名誉校長	桑田正博
6 月 10 日	日本顎咬合学会学術大会	名誉校長	桑田正博
7 月 30 日	日本オセオインタグレーション学会学術大会	名誉校長	桑田正博
8 月 5 日	日本医用歯科機器学会	教務主任	田中 誠
9 月 10 日	日本歯科技工学会	教務主任	田中 誠
10 月 1 日	日本顎咬合学会	名誉校長	桑田正博
1 月 21 日	群馬県歯科医学会学術大会	名誉校長	桑田正博

2. 学会出席実績

月 日	学 会 名	職 責	参加者
8 月 5 日	日本医用歯科機器学会	教務主任	田中 誠他
9 月 10 日	日本歯科技工学会	教務主任	田中 誠他

C. 研修部門

1. 外部研修会等発表実績

月 日	研 修 会 名	職 責	発表者
5 月 21 日	女性歯科医師会学術年次総会学術大会	名誉校長	桑田正博
7 月 18 日	スタディーグループ月例会テック	歯科技工士	金井正行
10 月 15 日	盛岡インプラント歯学研究会学術大会	名誉校長	桑田正博
11 月 19 日	東京都歯科技工士会生涯研修	歯科技工士	金井正行
2 月 11 日	新潟シンワ歯研学術講演会	名誉校長	桑田正博

D.その他の部門

1.施設開放の実施

	開放日	受け入れ先	行事名
1	6月15日・16日	社会福祉法人同愛会加賀福祉園	あじさい祭り
2	7月22日	社会福祉法人同愛会加賀福祉園	夏祭り
3	10月28日	社会福祉法人同愛会加賀福祉園	加賀福祉園祭り
4	11月26日	フィリピン医療を支える会	研修
5	3月26日	社会福祉法人同愛会加賀福祉園	卒園式

2.行事の実施

	実施日	行事名
1	4月7日	入学式
2	5月26日	1年生バスハイク(八景島)
3	5月26日 ～28日	2年生台湾国際学会
4	6月3日	会社説明会
5	10月6日	バスハイク(1・2年合同スカイツリー見学)
6	3月3日	卒業式

愛 歯 技 工 研 究 所

健康保険においてキャド・カム冠の適用範囲が広がってきている。キャド・カム冠を製作する際は歯科技工士がコンピュータの画面上でデザインをしなければならない。両隣接の歯との関係や上下の歯の咬み合わせなどを考慮して行う作業は、学術的な理論と臨床的な経験が必要となる。この技術を学校の教員と共に研究し、学生教育に反映させて、歯科医療の普及及び技工技術の向上に寄与するため、次の事業を行った。

A. 教育部門

(期間:平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日)

1. 学生実習教育の実施

2年次に行われる技工実習に講師として出席し、臨床経験から培った技工製作技術の指導、高度化した最新技術を講義した。

B. 技術研究部門

名 称	概 要
CAD/CAM 技術の研究	グラスファイバー配合強化型レジンを用いての臨床的な研究を行った。
製作工程の見直しと構築	CAD/CAMを用いてインプラント上部構造体の製作工程の構築を研究および検討を行った。
圧入(プレサブル)法を用いたオールセラミックスの外部技工所との技術提携	昨年同様に外部技工所との共同研究で良好な結果が得られた。臨床技工に取り入れ始めた。
全社的品質管理活動の充実	職場単位で問題点の原因及び解決策を話し合い、再製率を4%前後で維持している。

C. 研修部門

1. 学会出席実績

月 日	学 会 名	職 責	参加者
6 月 10 日	日本顎咬合学会学術大会	所長	太田光教 他
8 月 6 日	日本口腔インプラント学会学術大会	所長	太田 光教

2. 外部研修会出席実績

月 日	研 修 会 名	職 責	参加者
5 月 21 日	生涯研修コース(日本大学松戸歯学部)	有床義歯科 科長	福本 松明
7 月 16 日	卒後研修会(東京都歯科技工士会)	有床義歯科 部長	浦山 卓也他
10 月 14 日 ～15 日	卒後実習講習会(東京都歯科技工士会)	歯科技工士	高橋 道浩
10 月 15 日	審美歯科研究会臨床セミナー	所長	太田 光教
11 月 19 日	総義歯臨床のプライオリティ (河辺臨床教室)	有床義歯科 部長	浦山 卓也他
12 月 17 日	復興支援講習会(東京都歯科技工士会)	有床義歯科 部長	浦山 卓也他

D. その他の部門

1. インターンシップ受入実績

平成 29 年 11 月 8 日(水)～11 月 10 日(金)
足立西高等学校 5 名

2. 歯科医師見学

平成 29 年 5 月 22 日(月)
歯科医院スタッフ(豊島区) スタッフ 5 名